

## ■ 令和5年度 第4回 秋葉区自治協議会

日時：令和5年7月25日（火）午後2時00分

会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

### 1 開会

（中島会長）

皆さん、こんにちは。暑い中、ご苦労さまでございます。何か頭の中ぼうっとしてしまして、今日は副会長はじめ皆様方、助けていただきながら会のほうを進行させていただきます。座ったままですみません。どうぞよろしく願いをいたします。

今日この本会議の後、ご案内のとおり3つの部会に分かれてのワークショップがございます。さらに、その後場所を変えて暑気払い予定されております。よろしく願いをいたします。

それでは、開会の挨拶、第2部会の青木委員にお願いをしたいと思います。

（青木委員）

皆さん、こんにちは。第2部会、金津コミ協、青木と申します。よろしく願いいたします。

先ほど新津松坂の練習、大変ご苦労さまでした。去年は、雨で順延になりましたけど、今年はずばらしい天気の下、皆さんのすばらしい踊りをぜひ期待しております。よろしく願いいたします。

また、先般梅雨末期の大雨で、九州北部、北陸、秋田県、本当に大水害で甚大な被害が発生しまして、亡くなられた方がおられました。亡くなられた方のご冥福を祈りますし、また被災に遭われた方の一日も早い復興をお祈りいたしたいと思います。

当秋葉区は、幸いにして自然災害少ないところなんですけれども、この前発生しました災害を対岸の火事ではなく、自分の災害というふうにして、皆様からまた防災に関する意識を高めていただければいいかなと思います。よろしく願いいたします。

さて、本題に入りたいと思いますが、今日は7月も間もなく終わりますということで、令和5年も半分以上、7か月も終わろうとしております。また、今年新たに委員になられた方々も既に4か月、1年の3分の1終わりました。今日の第4回の会議も非常に重要な議題が提案されております。皆様方も、秋葉区約3万1,000世帯、7万5,000名の期待と信頼に応えるような活発なる議論を交わしていただきたいと思います。

以上で挨拶を終わります。

(中島会長)

ありがとうございます。もう本当に暑さを吹き飛ばすかのような力強いご挨拶いただきました。

さてそれで、本日エフエム新津様から取材の協力依頼をいただいております。これから見えるかもしれないです。写真撮影、録画、録音などを許可してよろしいかお諮りしたいと思います。よろしいですね。

(「異議なし」の声)

異議ないようですので、許可することにいたします。

## 2 報告

### (1) 令和6年度「特色ある区づくり予算」編成について

(中島会長)

それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。次第の1つ目です。令和6年度「特色ある区づくり予算」編成について、こちらの古俣副区長より説明をお願いいたします。

(副区長)

古俣です。皆さんには大変日頃からお世話になっております。また、未来ビジョンの策定支援ということで、山の手、小須戸、阿賀浦コミ協では1回目が行われました。阿賀浦コミ協では、小学生が非常に活発な討論をされたと伺っております。ありがとうございます。

それでは、私のほうから令和6年度秋葉区特色ある区づくり予算についてご説明いたします。着座にて失礼いたします。お手元には資料1—1をお開きください。特色ある区づくり予算は、各区における地域課題に対応するための予算として、資料の表の左手、区役所企画事業と右手の区自治協議会提案事業の2つで構成されます。限度額は、区役所企画事業と区自治協議会提案事業を合わせて2,900万円となっています。実際に予算を編成するに当たりましては、区役所企画事業が目安として2,400万円、区自治協議会提案事業については500万円を目安に組み立てていきまして、過不足が生じた場合は互いに調整をさせていただきたいと考えています。

次に、区役所企画事業と区自治協議会提案事業の内容についてご説明します。左手の区役所企画事業についてです。区役所企画事業は、区独自の課題解決に向けた取組、区の魅力や特性を生かした取組、区民との協働を進める取組などに係る事業となります。なお、枠囲みにありますけれども、健康福祉、子育て、防災、安心安全に関する事業は

全市的に展開すべきものとして、特色ある区づくり予算の区役所企画事業とは別枠で予算化すべきものと整理されておりまして、対象外となっております。例外的に令和4年度からの継続事業については、令和6年度は経過措置として別枠で予算要求が可能となっております。区役所では、区役所企画事業の予算化に当たりまして、自治協議会の皆様から来月以降にご意見やご提案をいただき、参考とさせていただきたいと考えております。

続きまして、右半分、区自治協議会提案事業について説明いたします。区自治協議会提案事業は、例年自治協議会委員の皆様自らが事業を提案し、主体となって進めていただく事業です。事業の内容としましては、地域課題の解決に必要な新たな取組や既存の取組と連携を図る事業となります。中ほど、期間については原則1年としております。区役所と連携しながら、企画、実施、評価、改善の各段階において自治協議会の皆様から主体的に取り組んでいただくものです。また、地域コミュニティ協議会などの地域活動団体と連携して事業を実施することも可能です。自治協提案事業では、区役所企画事業で対象外となっている健康福祉、子育て、防災、安心安全について予算化することが可能ですので、幅広い意見を反映いただくようお願いをいたします。

続いて、今後のスケジュールについて説明いたします。資料1—2を御覧ください。令和6年度特色ある区づくり予算編成スケジュールです。縦に7月から12月まで、横には区役所企画事業と自治協提案事業の2つに分かれています。7月を御覧ください。本日の自治協議会では、ただいま行っている予算編成の説明及びスケジュールの提示の説明の後、本日の部会において各課より秋葉区の主な事業を説明し、事前に皆様からお寄せいただいた地域課題のご質問にお答えしていきます。また、8月のワークショップで協議を深めていただけるよう、本日事務局より事前課題のお願いをさせていただこうと思っておりますので、ご了承をお願いいたします。

8月の本会議ですが、令和6年度の予算化を念頭に置いたワークショップを開催し、各部会において事業案を練っていただきたいと考えています。ワークショップの後、なおも9月15日まで皆さんからご意見を募ります。寄せられたご意見は事務局で整理し、これまでのご意見や内容を各部会と共有し、9月26日の区自治協議会で意見の結果をご報告いたします。同じ頃、9月下旬に関係各課へ委員の意見の検討と事業調書の作成を依頼します。事業調書案は、区長ヒアリングを経て、10月31日の区自治協議会において委員意見の検討結果と併せてご報告を予定しております。その後、11月28日の自治協議会で意見聴取させていただいた後、区役所企画事業の内容を固め、12月に予算要求をいたします。

次に、右側の自治協提案事業についてです。9月にかけて、ワークショップなどで集まったご意見を各部会と共有いたしますので、9月の部会までに事業内容の具体化の協議を深めていただこうと考えております。10月に入りましたら、緑色の枠の事業検討委員会、こちらは会長、副会長、各部会長、副部会長の委員から構成される協議体ですけれども、こちらで提案事業の整理や予算の割り振りなどの調整をお願いいたします。その調整結果につきましては、10月の区自治協議会、あるいは遅くとも11月の区自治協議会で各部会長からご報告をいただきたいと考えております。以上の経過を踏まえまして、12月に財務当局へ予算要求を行ってまいります。

以上、作業量が大変多くて、委員の皆様にはご負担をおかけして申し訳ないんですけれども、ご協力くださるようよろしくお願いいたします。

説明を終わります。

(中島会長)

古俣副区長、ご説明をありがとうございます。令和6年度特色ある区づくり事業に向けてということで、一つには基本的な枠組みについて、そして令和6年度の予算編成に向けたスケジュール、ご説明をいただきました。秋葉区は、8区で最も多い予算づけがなされているということで、行政で行えない事業を区民、民間が行っていくというアプローチと、あと区民が行えない事業を行政にさせるといったような、そういうアプローチとございます。そうしたことで、ただいまのご説明について、皆様のほうからご意見、ご質問等ありましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。

なければこれで特色ある区づくり予算編成について終わります。

次回、8月29日、第5回の自治協議会本会議を予定しておりますけれども、このとき本会議終了後に部会ごとにワークショップを開催しまして、皆様からご意見を賜りたく考えております。よろしくお願いいたします。

## (2) その他

(中島会長)

それでは、次第2、「その他」になります。

各部会の活動報告、進捗状況をこれから第1部会、第2部会、第3部会、広報部会、コミュニティ未来ビジョン部会の順番で報告をお願いします。

時間の都合がございまして、ご意見、ご質問がありましたら、全ての部会が終わってから報告後に承りますので、ご理解をいただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは、第1部会の加納部会長、報告をお願いします。

(加納委員)

荻川コミュニティの加納です。座って説明させていただきます。

第1部会では、きらめきサポートプロジェクトの2次審査を終えまして、5つの事業を採択させていただきました。「1. 小須戸まちなか演奏会『町屋とお寺と明かりと音楽』」、「2. 第1回聞き書き養成講座『国鉄と茶畑の歴史・文化を発掘する』」、「3. 秋葉ファミリーコンサート『アキハフジンロックフェスティバル&ドリッパーズ』」、「4. 秋葉湖周辺案内看板設置事業」、「5. チョイ戦『秋葉区との出会いを通じて自分を知る』」、この5つの事業を採択させていただきました。

5つを採択した結果、担当が2から3という形で、非常に忙しい状況になっておりますが、1部会では頑張ってお皆さんと協力して動いていく所存です。よろしく願いいたします。

(中島会長)

加納部会長、ありがとうございました。きらサポ、5つの事業、プロジェクトが採択されたという内容でのご報告でございました。

では引き続きまして、第2部会、青木部会長、お願いいたします。

(青木委員)

第2部会から報告いたします。

第2部会では先日、満日地区生活交通支援事業、この打合せの会議を行いました。7月3日、場所は満日のコミセンを借りて行いました。当日自治協の方、満日コミ協の方、施設の関係者など16名の方が参加されました。この事業につきまして持続可能にしていくにはどうすればいいかということで忌憚のないご意見をいただきたい、という会議でした。現在行っている事業は高齢者の買物の送迎ということで、現在10名の方が利用されております。この方達は非常に喜んでおまして、今4つの施設の方から車、運転手を出していただいています。この4つの施設の方が「利用者がある限り協力いたします」、こういうすばらしい返事をいただきましたので、持続が間違いなくできるはずでございます。

もう一点、今までどうしても一部の方が非常にご苦労していたという現状を踏まえまして、それでは長続きしないということで、皆さん公平で苦労を負担すると、そんな関係ですばらしい良い会議だったなと思います。

以上でございます。

(中島会長)

青木部会長、ありがとうございました。満日地区生活交通支援事業の打ち合わせ会議

についてのご報告でございました。ありがとうございます。

それでは、第3部会です。佐々木部会長、お願いいたします。

(佐々木委員)

第3部会、ディンプルアイランドの佐々木です。よろしくお願いします。

令和5年度の事業につきましては、各委員から10個の提案事業を皆さんで出させていただきまして、いろんな意見が出てまいりました。方向性としては、おとな大学の継続をいたしますが、講演会、もち麦、里山、この3つの柱でこれから意見集約をしてまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

ありがとうございます。第3部会は教育ですね。おとな大学について、もち麦、里山、あともう一つ、佐々木委員、何でしたか。

(佐々木委員)

里山ともち麦と講演会です。

(中島会長)

講演会ですね。ということで、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。それでは、引き続きまして広報部会ですね。森田部会長、お願いいたします。

(森田委員)

この本会議の前に踊りの練習、大変ありがとうございました。広報部会の参集で、今後もこの祭りに委員の皆さんから協力していただくということで、一生懸命やってもらいました。ありがとうございました。

では、2点お願いします。「あきはくはつものがたり」ということで、例年広報紙を発行しているわけですが、現在9月に発行する第33号ということで準備を進めているところでございます。会長、副会長、各部会長においては、広報の原稿大変ありがとうございました。

2点目は、8月2日に広報部会を開催いたしまして、今後の紙媒体でPRをしていく部分と、それからもっと違ったPRの仕方があるのではないかという議論を今後いたしまして、ぜひ自治協の区民の皆さんからのご理解と、またどうせやるなら楽しい自治協になっていければいいかなと思います。

以上の2点を報告いたします。よろしくお願いします。

(中島会長)

森田部会長、ありがとうございます。広報部会では、この自治協の認知度アップなど、発信力強化取り組んでおります。よろしくお願いします。

それでは、コミュニティ未来ビジョン部会ですね。私です。コミュニティ未来ビジョン部会は、座談会のほうを現在行っておりまして、ラウンドワンが既に始まっております。7月2日に山の手コミ協、そして7月17日に小須戸、そして22日に阿賀浦コミ協で第1回目のワークショップが行われました。2日の山の手コミ協に参加できなかったのですが、17日小須戸と22日阿賀浦コミ協は参加いたしました。大変多彩な顔ぶれで、たしか小須戸コミ協ですが、参加者の中に移住者という肩書の方がいらっしゃいましたし、またPTAの方、学生、一般参加の方が来られておりました。実に多彩な顔ぶれで、とても活発な議論、意見交換がなされて、充実した会になりました。

22日の阿賀浦コミ協も、このときは29人でしたか、参加がございまして、小中学生、高校生合わせて10名を超す参加がございまして、小須戸もそうだったのですが、このとき区長もワークショップに参加されまして、議論に加わっておりました。とても若い人たちの存在というのは、その意見もさることながらなんですが、場の空気が変わって、とてもいいなという印象を持ちました。

この未来ビジョンですが、SDGsとアプローチが同一でして、つまり未来を基点に現代の課題解決に取り組むという方法です。最終的には行動計画を立てるのがゴールですが、過程、プロセスを大切にします。そこで若い人をはじめとした人材を発掘して、ネットワークを広げるといったようなところで、本当にどの会でも多彩な人の参加があったということで、今後の展開をとても楽しみにしております。コミ協の担当の方は運営とか、また呼びかけにご苦労があったかと思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。以上、コミュニティ未来ビジョン部会でした。

一通り第1部会から全ての部会報告がございました。ただいまの件につきまして、ご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

では、その他ということで、ほかに何か委員のほうでぜひ言っておきたいとかありましたら、ご提案されても結構ですがよろしいでしょうか。

ということで、以上となります。

先ほど森田委員から話がありましたけれども、新津松坂流しの練習会をこの本会議の前にしたのですが、いよいよ8月16日です。皆さんで盛り上げましょう。そして、秋葉区自治協議会をアピールしましょう。にぎやかしたいと思いますので、ぜひ我々この9期のメンバーだけではなく、8期の方にも皆様方からお声がけいただきまして、このそろいのポロシャツで盛り上げていきたいと思っております。

ほかにございませぬでしょうか。

なければ、これにて議事を終了したいと思います。進行を事務局にお返しします。